

令和3年5月吉日

一般社団法人 日本応用地質学会
フィールドの達人企画委員会

「令和3年度 応用地質技術実践講座」開催のお知らせ

拝啓 時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

日本応用地質学会ならびにフィールドの達人企画委員会では、技術の伝承や若手技術者の現場を中心とした地質調査・解析技術力の向上を目的として、平成26年度から「応用地質技術実践講座」を企画・開催しております。本講座のテーマは応用地質技術に深く関わる「地下水」「土木地質」「災害地質」「地形」の4つに分類し、毎年テーマを変えていずれも調査解析技術・手法について議論を深めて各テーマの根幹となる考え方を実践的に学び、講座参加者から好評を得ることができています。

昨年度は新型コロナウイルスの流行により、本講座の開催を断念せざるを得ませんでした。近年の「現場での実践的な教育訓練の機会の減少」や「OJTによる若手への技術伝承の場の減少」という現状を鑑み、感染予防対策を十分に行ったうえで、開催することを決定いたしました。

今年度は『災害地質』をテーマとし、土砂災害や水害等に関する応用地質学的な基礎～専門知識を習得すること、また令和元年東日本豪雨災害の被災地にて現場実習を行い、実践的な技術力・思考力を向上することを目的としています。

我が国は、地震や豪雨、火山噴火、およびそれらに伴って発生する土砂災害によって、毎年のように甚大な被害が発生しています。このような自然災害の被害軽減や災害発生後の迅速な復旧を行うためには、地質学的な専門知識や経験の活用が不可欠です。本講座では、自然災害のメカニズムや調査方法を実際の事例も交えて分かりやすく説明するとともに、現地実習によって講義参加者が実務に活かせる、実践的に役立つものにしたいと考えています。

つきましては、是非この好機をとらえまして、貴社の地質技術職員の積極的な参加をいただきたく、ご案内申し上げます。

なお、座学および現場研修では、当学会の災害地質研究部会のメンバーが担当いたします。

敬具

- 1.日 時：第1回（座学） 7月1日(木)～7月2日(金) 全労連会館：東京お茶の水
 第2回（現場研修） 9月23日(木)～9月25日(土)（2泊3日）箱根（調整中）
 ※コロナで現地中止の場合9月23日(木)～9月24日(土)東京（演習講義に代替え）
 第3回（座学） 10月21日(木)～10月22日(金)東京（会場未定）

2.場 所：

座 学：全労連会館：東京都文京区湯島2-2-4：03-5842-5610 第3回（会場未定）
 （新型コロナウイルスの感染状況によってはハイブリット Web形式による開催を検討）
 現場研修：令和3年 東日本豪雨災害の被災地を予定（箱根：調整中）

3.目 的：技術伝承、中堅・若手技術者を対象とした地質調査・解析技術力の向上

4.定 員：20名(原則として、座学・現場研修のいずれにも参加できる方に限ります)

5.募集対象：実務経験3～10年程度の方、あるいは災害地質に興味のある方。

6.参 加 費：1名あたり25,000円(交通費・宿泊費は別途)

以下の口座にお振込みください。

振込先金融機関	りそな銀行 秋葉原支店
振込先口座番号	(普) 1977805
振込先口座名義	フィールドの達人企画委員会

※やむを得ない事情にて第2回以降を欠席した場合も返金はいたしかねます。

※また、現場研修にかかる移動費用や宿泊費等で25,000円程度を別途予定しています。

現地までの交通費は各自でご負担願います(詳細行程は後日お知らせします)。

7.申込締切：令和3年6月11日(金)

申込人数が定員になった場合は、その時点で締め切らせていただきます。

8.申込方法：申込用紙に所定の事項をご記入の上、E-mailでお申し込み込み下さい。

9. C P D：日本応用地質学会またはGeo-SchoolingNetにて登録、発行予定。

10.新型コロナウイルス感染防止対策

：本講座の開催にあたっては、「(日本応用地質学会新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン(暫定版)※)」に準拠した対策を講じます。

※：URL：https://www.jseg.or.jp/00-main/pdf/20201210_coronavirus_guideline_%20pro_ver01.pdf

<主な対策>

- ・会場入り口にアルコール消毒液の設置
- ・館内換気・広めの席配置
- ・講師・参加者・事務局員の検温・マスクの着用
- ・風邪の症状や発熱のある方の出席のお断り

11.申し込み先・問い合わせ先：

八千代エンジニアリング(株) 高野 征宣, 〒111-8648 東京都台東区浅草橋5-20-8,
 E-mail: tatsujin@geologist-jp.net, TEL: 03-5822-6849, FAX: 03-5822-2799

応用地質技術実践講座 参加申込書 E-mail 添付用

(<https://forms.gle/LkDxbrYF8Esgprn87> (または右のQRコード) からもお申込みいただけます。)



<p>・送付先：フィールドの達人企画委員会事務局（問合せ窓口：高野）</p> <p style="text-align: center;">E-mail : tatsujin@geologist-jp.net</p> <p style="text-align: center;">TEL : 03-5822-6849</p> <p style="text-align: center;">FAX : 03-5822-2799</p>
--

注：E-mail が使用できない場合はFAXにてご送信ください。
 その際は、お手数ですが送信後、TELにて事務局に着信確認を依頼してください。

参加者氏名(フリガナ)		性別	男・女
所属機関 所属部署		業務経験 年数	
日本応用地質学会	会員 ・ 非会員	非会員の 場合	入会希望・希望せず
最終学歴	大学院・大学・短大・高専・高校	学校での 専門分野	地質系・地球物理系・土質系 環境系・地下水系・土木系 その他()
所属先 情報	住所	〒	
	TEL 番号 FAX 番号 E-mail	内線()	
	携帯番号	(緊急時のみ使用)	
備考	(食物アレルギーや喫煙の有無等、宿泊時の情報としてお書きください)		

定員が少ないため、1社で2~3名程度までとさせていただきます。申込用紙は各人一枚ずつ。

個人情報は保険加入に使用し、そのほかの目的では使用しません。

※定員になり次第申し込みを締め切らせていただきますのであらかじめご了承ください。

申込み締め切り：令和3年6月11日(金)

【実践講座の内容】

第1回 座学 7月1日(木)～7月2日(金)

会場：全労連会館：東京お茶の水（対面形式または、対面・Webのハイブリッド形式）

講義内容・タイムスケジュール：

タイムスケジュール		講義内容	講師
1日目（7月1日：10：30 集合）			
10:45～11:00	0.25h	講座の開催にあたって	大石 朗* (八千代エンジニアリング(株)) 稲垣 秀輝 部会長** (㈱環境地質)
11:00～11:20	0.25h	オリエンテーリング	安藤 伸 幹事** (応用地質(株))
11:20～12:20	1.0h	昼食休憩（早めの昼食）	—
12:20～14:20	2.0h	自然災害の地形・地質の知識	上野 将司 顧問** (応用地質(株))
14:20～14:30	0.2h	休憩	—
14:30～16:30	2.0h	地盤・自然災害の法と訴訟事例	稲垣 秀輝 部会長** (㈱環境地質)
2日目（7月2日：9：00 集合）			
9:20～10:20	1.0h	災害復旧の考え方と災害時の初動調査	安藤 伸 幹事** (応用地質(株))
10:20～10:30	0.2h	休憩	—
10:30～12:00	1.5h	空から見た災害地形	井口 隆 顧問** (国研)防災科学技術研究所)
12:00～13:00	1.0h	昼食休憩	—
13:00～14:30	1.5h	石碑から読み解く災害など	橋本 修一 委員** (東北開発コンサルタント)
14:30～14:40	0.2h	休憩	—
14:40～16:10	1.5h	自然災害の類型化とやや不自然な自然災害	高見 智之 委員** (国際航業)
16:10～16:30	0.3h	現場実習ガイダンス	高野 征宣 (八千代エンジニアリング(株))

※：フィールドの達人企画委員会 委員長、**：日本応用地質学会 災害地質研究部会



〔JR〕

総武線 御茶ノ水駅から徒歩8分→案内写真 (PDF)

〔地下鉄〕

東京メトロ丸ノ内線 御茶ノ水駅から徒歩7分→案内写真 (PDF)

東京メトロ千代田線・都営新宿線 新御茶ノ水駅から徒歩11分

第2回 現場研修 9月23日(木)～9月25日(土) (2泊3日) 調整中

研修場所：令和3年 東日本豪雨災害の被災地を予定（今のところ箱根地区など予定）

チーム編成：4名×5チーム 講師：各班に1人；計5名

○現地実習の講師は応用地質学会災害地質研究部会より、以下の5名程度を専任予定

全体：稲垣

- ・古木
- ・西村
- ・松澤
- ・下村
- ・佐藤昌

○事務局スタッフ

- ・大石 朗(八千代エンジニアリング(株))
- ・磯村 敬(八千代エンジニアリング(株))
- ・高野 征宣(八千代エンジニアリング(株))

実習内容

- ・被災地および被災地周辺の地形・地質構造の観察。
- ・災害現場を視察し、現場作図（スケッチ、平面図、断面図等）の実践。
- ・地質平面図・断面図の作成（第3回座学までの課題として）。

※コロナのため、現場中止の場合：

- ・9月23日(木)～9月24日(土)東京にて、災害地質演習講座に振り替えを検討。
- ・講師は、稲垣・古木・西村・松澤・下村・佐藤・上野・安藤の中から選ぶ。
- ・班分けをして、演習題目を参加者が各自解答し、意見を出し合いながら解決していく。
- ・最後に、参加者に課題を出し、第3回の座学までに回答案を作成、第3回の講座で参加者全員の討議を行う。

第3回（座学） 10月21日（木）～10月22日（金） 1泊2日（会場未定）

会場：東京（対面形式または、対面・Webのハイブリット形式）

講義内容・タイムスケジュール（予定）：

タイムスケジュール		講義内容	講師(案)
1日目（10月21日：12：40 集合）			
13:00～13:10	0.2h	オリエンテーリング	下村 博之 幹事* (株)バスコ
13:10～16:00	2.8h	現地実習・演習課題の発表	参加者
16:00～16:10	0.2h	休憩	—
16:10～17:00	1.2h	現地実習・演習課題の解説・討論	古木 宏和他 幹事* (日本工営(株))
2日目（10月22日：9：00 集合）			
9:20～10:50	1.5h	ハザードマップの作り方と利用方法	下村 博之 幹事* (株)バスコ
10:50～11:00	0.2h	休憩	—
11:00～12:30	1.5h	災害に役立つ風化区分	平田 康人 委員* (一財)電力中央研究所
12:30～13:30	1.0h	昼食休憩（遅めの昼食）	—
13:30～15:00	1.5h	海外の自然災害	西村 智博 幹事* (国際航業(株))
15:00～15:10	0.2h	休憩	—
15:10～16:20	1.5h	減災のアウトリーチなど	松澤 真 幹事* (パシフィックコンサルタンツ(株))
16:20～16:30	0.2h	閉会挨拶	千田 敬二 副部長* (大日本コンサルタント(株))

※：日本応用地質学会 災害地質研究部会

以 上